

No. 381【2019年11月8日配信】

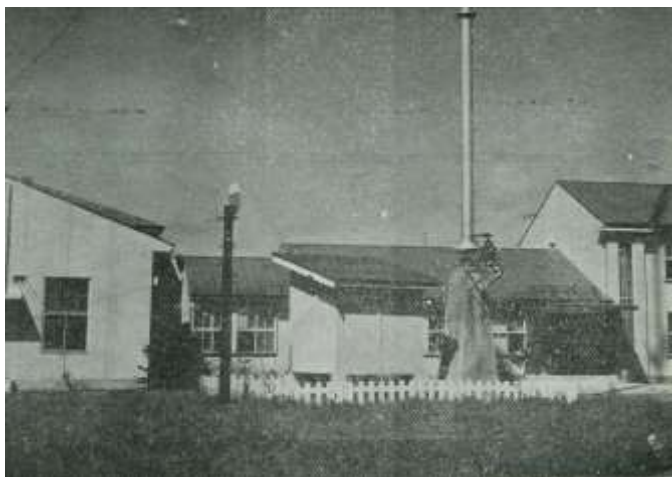
テレビ放送開始から60年(担当:村上)

こんにちは。嘱託員の村上です。

今年は青森県においてテレビ放送が始まって60年という節目の年です。昭和34年(1959)3月にNHK青森放送局、10月にラジオ青森(現青森放送、以下RAB)がテレビ放送を開始しました。そこで、今回は青森県におけるテレビ放送のはじまりについてお話をします。



昭和30年頃のNHK青森放送局
(『青森市写真名鑑』1955年、青森県観光株式会社)



昭和30年頃のラジオ青森
(『青森市写真名鑑』1955年、青森県観光株式会社)

青森県へのテレビ局設置の方針は昭和32年に郵政省が発表した「第一次チャンネルプラン」と呼ばれるテレビ放送用周波数の割当計画に示されています。この計画により、青森県には2つのチャンネルが割り当てられ、NHKとRABがテレビ放送を行うことになりました。

テレビ放送の電波を送信する施設は見通しのよい場所に建設する必要があったため、八甲田の前岳や梵珠山などが候補として挙がり、現地調査の結果、鶴ヶ坂の鷹森山が選ばれました。鷹森山に建てられたテレビ塔はのちに青森市の観光地の一つとなっています。



鷹森山のテレビ塔
(歴史資料室蔵)

昭和 34 年 3 月 22 日、NHK 青森放送局がテレビ放送を開始すると、青森県内では多くの人がテレビを買い求めました。青森市内では放送開始から 2 週間ほどで約 700 台のテレビが売れたといえます。4 月 10 日に行われる皇太子（現在の上皇）ご成婚のテレビ中継が購入を後押ししたと考えられています。

一方、RAB はラジオ東京（現 TBS）の系列局となる計画で準備を進めていました。試験放送にもラジオ東京の放送を使用していましたが、試験放送期間の途中に日本テレビ系列となることを決め、放送内容を日本テレビの番組に切り替えました。

系列を変えた理由の一つは近くに日本テレビ系列のテレビ局がなかったことです。当時、RAB の放送は北海道の道南地域や秋田県、岩手県でもキャッチすることができましたが、このエリアには既にラジオ東京系列の北海道放送とラジオ岩手テレビ（現岩手放送）があったため、青森県外で視聴者を獲得することは難しいと考えられていました。そこで、これらの放送局とは異なる番組を放送できるよう、日本テレビ系列を選択したのです。

そして、RAB は昭和 34 年 10 月 1 日に本放送を開始し、青森県では NHK と RAB の 2 つチャンネルを楽しむことができるようになりました。NHK 青森放送局の放送開始から間もない頃、青森県内で受信契約をしたテレビの台数は 1700 台ほどでしたが、RAB の放送が始まる頃には 8100 台あまりに増加していたそうです。60 年前の青森県はテレビブームに沸いていたのですね。



現在の青森放送本社

※今回の内容は『青森放送二十五年史』、『東奥日報』昭和 34 年 3 月 22 日付、4 月 9 日付、9 月 13 日付、10 月 1 日付などを参考にしました。